# 幼児だより

# ３月号

２月３日みどり野保育園にはらっこ鬼、いるか鬼、くじら鬼がやってきました。
みんな鬼になりきって「鬼は外！福はうち！」と豆まきを楽しんでいると・・・
突然、赤鬼と青鬼が現れました！！！子ども達は急いで豆を手に取り、鬼に向かって「鬼は外！福はうち！」と言いながら豆を投げていました。
最後は鬼さんと仲良くなり、歌遊び「おにのパンツ」をみんなで楽しみました

自由遊び☆
思い切り身体を動かしたり、ルールのある遊びをして勝ち負けを楽しんだり、協力して１つの遊びを進めることが大好きな様です。

サーキット

ルールのある遊び

生活発表会の本番は、子ども達も緊張していましたが、
それまで積み重ねてきた練習から自信を得て、胸をはって
発表することが出来ていました。
各クラスの劇を見て憧れていた子ども達は発表会の後も、真似して
動いてみたり、聞いてごっこ遊びを楽しんでいます！
「こうやで」と物語を子ども同士で教え合ったり、自分の取り組んだこと以外にも興味を持って、触れ合うことが出来たり刺激し合えるって素敵だなと改めて感じました。

砂遊び

# 自分の経験を活かして・・・

**幼児クラスの製作棚にはこのように１セット１２色の色鉛筆が並べられています。**
**１セットを選んでぬり絵をしたり、絵を描いたりして遊んでいます。（ちなみに、「物の管理をする」という目的もあります。）**

かめ組の Ｍ ちゃんが遊びに来てお絵かきをしようとしていたので、保育士は、色鉛筆のセットを渡しました。するとそこへ、先にお絵かきをしていた Ｒ くんが、「待って！」と製作棚に向かい、色鉛筆のセットを取ってきてくれました。すると Ｍ ちゃんに「手（が）小さいからこっち（短い方）がいいよ」と色鉛筆を渡してくれました✨なんて優しいんでしょう。

その後も Ｒ くんの描く絵をみている Ｍ ちゃんの視線に気づき・・・

Ｒ くんは家や園生活の中で、自分が今までされてきた経験。つまり、気持ちに寄り添われ、、想われ、それを実行にうつされてきた体験をしてきたからこそ、このように自然に小さいお友達のことを想った行動がとれたのだと思います。子どもたちには、何よりもたくさんの経験が必要だと強く思います。

# こどもの想像力に感心します。

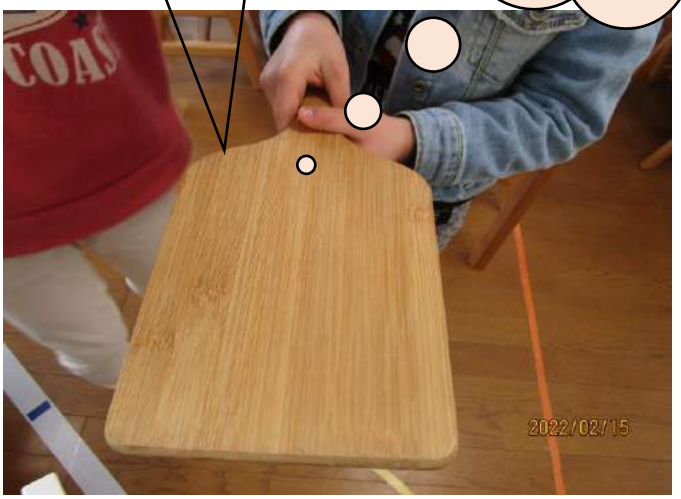
ここは、レストランです。
こちらは、メニューひょうです。なにをたのみますか？

へ～、ニューブロックを組み立ててメニュー表。考えてるな～

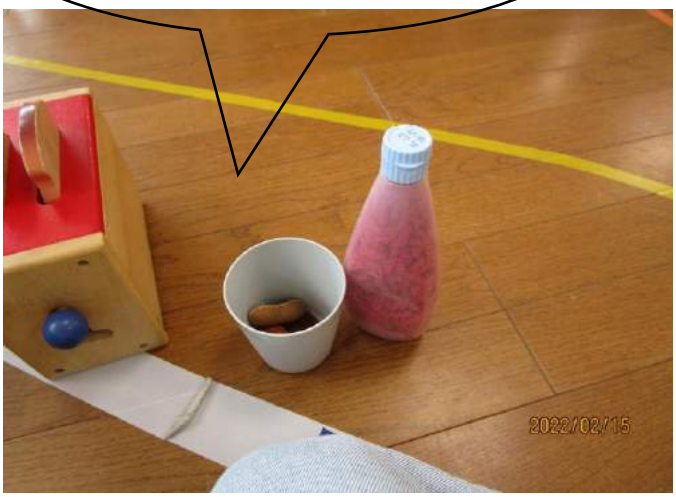
プリンをもってきました。

こちらは、ピザです。あついですよ。

確かに、お店に行ったら、こういうお皿で出てくるよな～




こちらは、ポテトです。ケチャップをつけてたべてください。




自分の経験、体験が、このように想像してままごとあそびが深まります。メニュー表を、ブロックで作るなんて、子どもらしい発想★ピザのようにお皿で想像している点や、プリンのようにコップを見立てている点。とても楽しい発想をすることに、私は感心してしまいました。

3月ヴィジブル

# ぼくがやってあげるよ！！

　ある日のお昼寝から起きた時のことです。
らっこさんのＨちゃんが服のボタンができずに困っていました。
「先生、ボタンして」の声に対して、手が離せなかった保育士は「ちょっと待ってね」と言いました。
すると、その会話を聞いていたいるかさんのＫくんがやって来て「やってあげるよ」と言い、
さっとボタンを留めてあげたのでした。

　何気ない行動ですが、周りを見て困ってる友達に気付いたこと、ぼくが助けてあげたいと感じたこと、
それを実際行動に移したことにＫくんの成長を感じました。
この後、保育士がＫくんに「ありがとう」と声を掛けると“ニヤリ”と笑い、お友達の役に立てたことを
喜んでいるようにも感じました。そして、この出来事がＫくんの自信になるのだろうなとも感じました。
また、Ｋくんがこれまでに年上のお友達に手伝ってもらったり助けてもらったりした経験が今回の行動
に繋がったように思います。異年齢で過ごす中で、このようにして年上の友達から年下の友達へと
関わり方を学んでいくのだなと思いました。